

2025 年 6 月 23 日

森林を守ろう！山陰ネットワーク会議
事務局 宛

会員名	特定非営利活動法人さくらおろち
代表	理事長 堀江 研次

「アドバイザー事業」利用報告書

1. 派遣日時： 2025 年 6 月 21 日（土） 16:00 ～17:10
2. 会 場： チェリバホール（雲南市木次町）
3. 参 加 者： 合計 31 人

団体名・個人名	人数	団体名・個人名	人数
① NPO 法人さくらおろち会員	19 人	④	
② 官公庁関係者	7 人	⑤	
③ その他一般聴講者	5 人	⑥	

4. 活 動 内 容

活動項目	時 間	具体的内容
講 演	16：00～17：10	テーマ：奥出雲の自然について考える
総 会	17：15～18：10	NPO 法人さくらおろち 通常総会
懇親・交流会	18：15～20：00	佐藤先生も交えた懇親・交流会

5. 活動の状況

佐藤先生の講演より 島根県の植生自然度は東京都よりも低い。これは「たたら」に伴う自然林の伐採によるもので、国内鉄総生産量の 50%以上を占める時期もあったが、伐採地は二次林を形勢し自然の再生が図られてきた。 また「炭」の生産量も S30 年には全国 2 位であった。こうした過去の歴史を振り返るとともに、我々の身近にあった「炭」を手軽に作り有効に使う方法を学ぶことができた。尾原ダム周辺は絶滅危惧種とされるクマタカの生息地でもあり、雲南市内にはコウノトリも生息している。こうした自然豊かな地域であることを認識し、自然と共生し環境に配慮した取組が必要であると強く感じた。

以上